金城学院大学　シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	37750001
授業科目名(Course name)	邦楽Ｂ		
担当者(Instructors)	杵屋 勝千華,井上 松次郎,華房 小真		
開設学部学科(Department)	文学部　音楽芸術学科	科目分類番号(Course classification number)	261
開講クラス(Class)	音３	開講形態 (Course format)	演習
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	1
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	後期 水曜１限	担当形態 (Instructor format)	オムニバス
実験実習費（円）(Experiment/training fee (yen))	4,000	履修者数上限（名）(Maximum number of students)	

他学部他学科生履修不可(No other undergraduate departments students can study)

■授業の概要(Course outline)

「能」「狂言」「歌舞伎」など古典芸能の特徴を解説しながら、音楽・演出の違いを体感する。「舞」と「踊り」の精神を説き、「謡」や「身体表現」を体験する。（狂言／井上松次郎）
三味線を弾く。三味線基本学習（華房小真）
長唄、歌舞伎十八番「勧進帳」にスポットをあて、歌詞解説、時代背景の講義、長唄三味線を唄う、弾く。（杵屋勝千華）

■到達目標(Course goals)

長唄・端唄・小唄を中心に美しく響く日本の歌の発音および発声を修得している。

■履修上の留意点(Important points)

自己学習必須。遅刻厳禁。教職課程履修者に限定。

■学位授与方針 (Diploma policy)

１．知識・理解

音楽芸術に関する専門的知識と演奏技能を身につけるとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。	○

■授業計画(Lesson plan)

1. 担当：井上松次郎 日常生活に溶け込む風習・言葉などから紐解き、古典芸能との接点を身近に感じてもらう。
2. 担当：井上松次郎 簡単な「謡」や「身体表現」の体験を通じて．「間」の重要性に触れる。
3. 担当：華房小真 端唄 ①三味線音楽・邦楽のジャンル・歴史説明②三味線の弾き方③譜面・口三味線その説明
4. 担当：華房小真 端唄A　本調子の合わせ方(調弦)本調子の曲を弾く・唄う(十五夜・お江戸日本橋等)
5. 担当：華房小真 端唄B　二上りの合わせ方(調弦)二上がりの曲を弾く・唄う(　荒城の月　等)
6. 担当：華房小真 端唄C　三下りの合わせ方(調弦)　三下りの曲を弾く・唄う(さくら・さくら　等)
7. 担当：華房小真 端唄A・B・Cの曲を、調弦し、弾く・唄う
8. 担当：華房小真 弾き唄いの練習
9. 担当：杵屋勝千華 長唄　長唄概論（長唄とは、歴史、分類）　「勧進帳」について　ビデオ・講義・プリント　範囲A（旅の衣～月の都）
10. 担当：杵屋勝千華 長唄　「勧進帳」源頼朝の弟、義経、追捕の命を受け厳重な「安宅関」。ビデオ・講義・プリント　範囲B（寄席の合方～ゆかしける）

11. 担当：杵屋勝千華 長唄　「勧進帳」白紙の巻物を取り出し「勧進帳」すらすらとよみあげる。ビデオ・講義・プリント。範囲C（波路～つきにけり）
12. 担当：杵屋勝千華 長唄　「勧進帳」弁慶は計略のため棒で主君をうちすえる。 弁慶泣いて義経に謝罪。歌詞解説とともに唄う。ビデオ・講義・プリント
グループ練習（ABC）
13. 担当：杵屋勝千華 弁慶舞の場面。歌詞解説とともに唄う。グループ練習（ABC）
14. 担当：杵屋勝千華 グループごとに実技試験・長唄を唄う。長唄三味線を弾く。
15. 担当：杵屋勝千華 筆記試験とまとめ

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)

歌舞伎勧進帳ビデオを各自鑑賞する。1時間
三味線練習、毎日なら１５分、2日に一度なら30分、3日に一度なら1時間練習する。

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)

ビデオ、歌舞伎「勧進帳」の貸し出しを行っているので、事前学習、事後学習に役立ててください。
三味線練習は授業時間外に各自行ってください。復讐を丹念にしてください。
「長唄の世界へようこそ　読んで味わう長唄入門」、配布プリント熟読願います。
邦楽演奏会、歌舞伎鑑賞など推奨しており、レポート提出が望ましい。フィードバックは授業内に行う。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)

狂言　適宜講師が準備し配布する。
端唄　文化譜による三味線手ほどき　邦楽社
長唄　長唄の世界へようこそ　読んで味わう長唄入門　　細谷朋子　春風社

■評価方法(Evaluation method)

実技試験（三味線。唄）　40%

筆記試験　40%

取り組み姿勢、レポート提出　20%

実技試験はグループ試験。例年、長唄と三味線両方の試験を行っているが、COVID19対策で三味線のみの試験となった場合は、合方「舞の合方」追加。

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)

授業終了直後、居残り生徒に対し、指導可能。